

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 御殿場線で、ICカードの利用が可能になるとのことだが、国府津～下曾我間でICカードの利用が出来ないのは、JR東海とJR東日本の問題だと聞いている。将来的に可能性はどうか。 	
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 今年の三が日、バスが動かず非常に困った。タクシーも早朝は山北へ応対してくれなかった。免許証返納者にとっては大問題である。 	
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 岸地区にも買い物難民が多い。共和地区の福祉バスの取組みは興味がある。町内地区にも同様の運行はできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 共和地区は財産区の予算を財源にここまでの仕組みを作り上げた。委員会としても、今あるバスや新たな仕組みについて、町内交通網を整備できないか検討しているところである。
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の移動手段としては循環バスは使いにくい。仕組みとして、地域の方が買い物や、病院等へ送迎するときの事故補償等の問題がクリア出来れば地域での助け合いも可能になる。免許証返納者への対応も出来るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none">
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害は、耕作放棄地があるから被害が増えるのか。その因果関係は示されているのか。最近鹿・猪だけでなく、ハクビシンの被害が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 放置され藪になった放棄地や残された作物等が鳥獣被害増加の一因だと先進地視察で学んだ。
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害が無くなれば就農者が増えるのか。イノシシが体についた虫を落とすのに、草むらで転がり体を払うため、やむなく除草剤を使って草が生えないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none">

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	・ 鳥獣被害など大きな課題は足柄上郡広域連携で取り組んだ方がいいのではないかと。	・ 現在も様々な課題について足柄上郡で連携協議をして進めているものもある。特に鳥獣被害やジビエについては上郡だけでなく、小山町とも連携して進めていく必要もある。
農林業関係	総務環境 常任委員会	・ 耕作放棄地の活用をどう考えているか。都心の方を呼んで農地を貸し出すとか、新たな考えはないか。	・ 現状では、「ひだまりの里」で品川区に農地活用をしている程度。近隣では、休耕地の利活用について様々な取り組みを進めている例もある。今後、委員会としても調査研究を進める。
農林業関係	総務環境 常任委員会	・ 高齢化と関係しているが、耕作放棄地や空き家が多くなっている。今後更に増えるのではないかと心配している。	・
人口対策関係	総務環境 常任委員会	・ 地域の若い人が減っている。働く環境が少ないことと、交通の便が悪いことが原因ではないかと思うが、企業誘致や増便等は難しいのか	・ 御殿場線はICカードが使えるようになる。それにより乗降客が増えれば増便も要望できる。町内の企業撤退した跡地等に工場が来ればと思うが現状は厳しい。 隣町の小山町では大規模な企業誘致や土地開発を進めている。求人は3,000人規模とのことで、議会では山北の雇用にも繋がると思い、視察に行くなど研究を進めている。
人口対策関係	総務環境 常任委員会	・ 山北町で一番大きな問題は人口減か、財政問題か	・ 人口減が一番の課題と認識している。
人口対策関係	総務環境 常任委員会	・ 地域に若い人が少ない。若い人を引き留めるための魅力を発信する必要がある。また、若い人の出会いの場が少ない。 共和地区への若者の移住は、興味を持って見ている	・ 町の婚活が出会いの場になるのではないかと。 共和には現在7～8人が移住している。最初は仕掛けが必要だが、皆が人と人との繋がりで住むようになった。地域住民の意識も変わってきた。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
人口対策関係	総務環境 常任委員会	・ 移住にはインフラがある程度揃っていることが必要で。交通の便が良く、職場が近くにある、買い物が便利、医者が近くにいる等が決め手となるのではないかと。	・ お試し住宅等の人気は高いが、空き家に駐車場が無い等、定住に至るまでのハードルは高いと聞いている。
その他 買い物弱者 の対応	総務環境 常任委員会	・ 湯坂や南原では、小田原百貨店へ買い物に行くのに、往きは良いが帰りが荷物もあって非常に大変だ。前自治会長の時に、小田原百貨店に交渉したが、断られた。松田町のように移動販売車が来てくれると良い。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 被災した際に、生き残った者が安心して暮らせるような防災対策を示して欲しい。 自助ばかり強調され、その場にならないと分からないことばかり言われると、不安で暮らせない。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 南原で10カ所ほど空き地空き家がある。以前も水漏れがあり、外に吹き出して誰が管理しているか分からず困った。ガスボンベの管理、空き巣、不審者等住民は不安が多く困っている。町で対応して欲しい。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 防災対策で、東海地震を想定した訓練や対策をしているようだが、もっと歴史に学び過去の事例を掘り起こし考えるべきではないか。また富士山の爆発/火山災害について検討すべきではないか。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 避難所の再検討をすべきではないか。夜災害が発生した場合、年寄りが想定した避難所に移動できるとは限らない。避難できた場所が避難所になるよう、柔軟な対応も検討すべきではないか。	・

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会単位で防災訓練を行っているが、行政と自治会でもっと情報共有し問題の洗い出し等を行うなどの検討をすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none">
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 防災については、地域内で自治会長経験者など適性な人物を配するよう配慮している。AEDの使用など救命救急の講習をもっと増やすべきだ。またAEDの設置場所も増やすべきだ。 	<ul style="list-style-type: none">
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3.11の際、宮城の実家に行った。明かりは庁舎の周りにしかついてなく、電気・水道が復旧するまで1ヶ月かかった。災害時にはきめ細かな情報発信が出来るよう考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none">
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 役場は、災害時の自助ばかり強調している。それでは不安で暮らせない。災害時、町がどれだけの支援をしてくれるのか。水・食料配布の段取りはどうなっているのか。町の対応を示してもらわないと安心して暮らせない。 	<ul style="list-style-type: none">
その他（自治会役員 のなり手不足： 状況）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員のみなり手不足が地域の大きな課題となっている。一度自治会長をやっても、次の役員が見つからないため、3役を継続してやる状況である（南原自治会、原耕地自治会）。また、高齢者宅は、自治会参加が負担となり、まさに連合自治会、各自治会の崩壊が近づいてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を認識し、共に考える必要性がある。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他（自治会への参加：状況）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代は、自治会に興味が無く参加意識にかけて協力的でない。高齢者夫婦または独居世帯は、参加するのに負担を感じており、協力者、参加者が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を認識し、共に考える必要性がある。
その他（自治会役員のみ手不足：要因1）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の役員を中心を担うのは、60歳代から70歳前半である。自治会役員のみ手不足の要因は、再雇用等で70歳まで仕事を続ける状況があり60歳代で自治会の役員としての時間をとれる人が少なくなった。70歳過ぎては年齢の問題もあり、役員はできない。また、70歳で退職し、やっとこれから自分の時間を持つという状況もある。一方、40代、50代の世代は、自治会に違和感を持っている人が多く、協力姿勢が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を認識し、共に考える必要性がある。
その他（自治会役員のみ手不足：要因2）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員のみ手不足の要因として大きいのは、自治会役員（特に連合3役、自治会長）の仕事量の多さである。町の下請け事業から岸連合自治会の事業（社会福祉協議会関係を含め）、各自治会の事業が多く、時間的にも肉体的にも大きな負担となっている。自治会長で、年間100日以上は費やしている。松田町では、現役（就職している）の自治会長もいる。町が積極的に支援をし、役割分担も整理されているため負担度が違う。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を認識し、共に考える必要性がある。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他（自治会役員のみ手不足：見直し）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連合自治会を中心に、事業内容等を再検討する時期に来ている。事業の必要性と実施回数や規模等を見直し整理し、住民に求められていることや自治会役員の負担等を再検討する方向でいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を認識し、共に考える必要性がある。この機会に連合自治会としても行事を見直すこと検討してほしい。
その他（自治会役員のみ手不足：役場の姿勢）	総務環境常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会が崩壊することで一番困るのは、役場である。町は、町の下請け事業等に対し、汗水を流し支援すべきであり、自治会役員の負担を少なくする努力をすべきである。また、役場の本来すべき自治活動と自治会が自らすべき事業の役割分担をすべきである。町は、自治会に頼りすぎである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を認識し、共に考える必要性がある。
その他（自治会役員のみ必要性）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨今の異常気象等で、どんな災害が起こるか想定できない時代だ。災害を含め、地域のつながりが特に必要なときである。少子高齢化でもあり、色々なことで、自治活動は重要と認識しているからこそ、持続可能な自治会組織が必要である。町も各自治会も持続できる仕組み作りを考えなくてはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を認識し、共に考える必要性がある。
その他（防災関係：状況）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火栓ホースの老朽化に伴い、町に新規ホースを依頼したが、廃棄するホースは自治会で処分するよう言われた。また、消火栓機具格納箱の交換も、自治会でやるよう言われた。役員個人では、なかなかできることではない。町の役割とは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を認識し、共に考える必要性がある。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他（消防団）	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 消防団も定数不足で、団員確保に苦勞している。消防団員手当や出動手当、年末特別警戒手当等は、近隣他町より少ないのではないか。もっと手厚い対策をすることで、団員確保につながるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を認識し、共に考える必要性がある。
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 防災ハンドブックに記載されている内容が不明確すぎてわかりづらい。（非常持出品の食糧1週間分は持って歩けない。せいぜい10kg～15kgが限界である。） 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所や備蓄品の考え方、マニュアル整備なども含め、行政に現状を確認し、地域の実情に合ったものになるよう要望していく。
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> いきいきセンターが避難所になっていない。岸地区は川村小学校が避難所だが、有事の際に高齢者は小学校まで行けない。 	<ul style="list-style-type: none">
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> いきいきセンターの防災倉庫には備蓄品が不足している。食料等がなくなった場合は、役場まで取りに行かなくてはならないのか？そもそも役場の地下に十分な備蓄品があるのか。 	<ul style="list-style-type: none">

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 役場保管の備蓄品を、岸や向原地区の自治会（役場周辺以外の地区）に分散して置いておくことはできないのか。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 災害時にいつ・誰が・何をやるのか具体的な役割分担が記載された明確なマニュアルを整備して欲しい。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	岸地区では50件ほど井戸水を使用している。地域水道組合で水質検査等も実施しているので飲料用としても問題ない。井戸水利用は他の地区にもあるのか。あるのなら、ハザードマップなどにマーキングをして欲しい。	・
その他 防災対策	総務環境 常任委員会	・ 町内の企業や商店と防災協定を結び、災害時の商品提供や地域の防災備蓄品などを置かせてもらうことなどできないか。	・ 一部の企業とは防災協定を締結しているが、内容については充分でないかもしれない。行政に現状を確認する。
幼児・子供関係	福祉教育 常任委員会	・ 小学生に山北のいろいろな歴史を題材とした話をする中で、子供達が山北の良さを認識してきている。地道な積み重ねで山北に愛着を持ってもらうことが必要ではと思う。	・ 子ども議会で、町の歴史や文化を伝える教材が欲しいと提案され、教育委員会では副読本を作成した。小学校高学年になるとその副読本を使い、町の歴史や文化を学んでいる。
その他 教育	福祉教育 常任委員会	・ 鹿島学園山北高校の動向は。町の特色を活かした授業や地域との関係性はどうか。	・ 現在は400名強の生徒がスクーリングをしている。農林業体験、福祉体験等地域に密着した授業も実施されている。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月13日
場所:岸地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
高齢者関係	福祉教育 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 現状の課題は高齢化ではないか。企業で働く人が65～70才迄が多くなり、自治会活動の担い手も70才以上に高齢化しているので、自治会の活動をどう引っ張っていくかが課題だ。 	<ul style="list-style-type: none">
高齢者関係	福祉教育 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 75以上の敬老祝い金の一律配布は自治会長にとっては非常に大変な仕事となっている。手渡すまで2度3度の訪問となる時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 31年度から敬老祝い金制度は変更の予定と聞いている。
高齢者関係	福祉教育 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> お祝いの品についても見直した方が良い。パークゴルフ券、ぶなの湯利用券など、具合の悪い人や介護をしている人など出掛られない。こうしたことにも配慮が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 同様なご意見は耳にしている。町に伝えます。
その他 選挙	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 人口分布で議員定数を見るならば小選挙区制などで、山間地域から必ず1人は出せるような工夫をしていけばいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の制度では小選挙区制にするのは難しいが、より多くの声を聴けるように山間地域にも議員が選出できるような仕組みは考えていかなければならない。
その他 議員の仕事	委員会以外	<ul style="list-style-type: none"> 住民は議員に対し直接何かを頼むことはない。問題がある時は自治会長に頼むのが現状。議員はその要望事項について後押ししてもらっただけ。住民にとって議員は敷居が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 議員本来の仕事でもある民意の吸収が出来ていないのであれば反省しなくてはならない。もっと住民にとって距離の近い関係を作る必要がある。